

愛労連

愛知県労働組合総連合

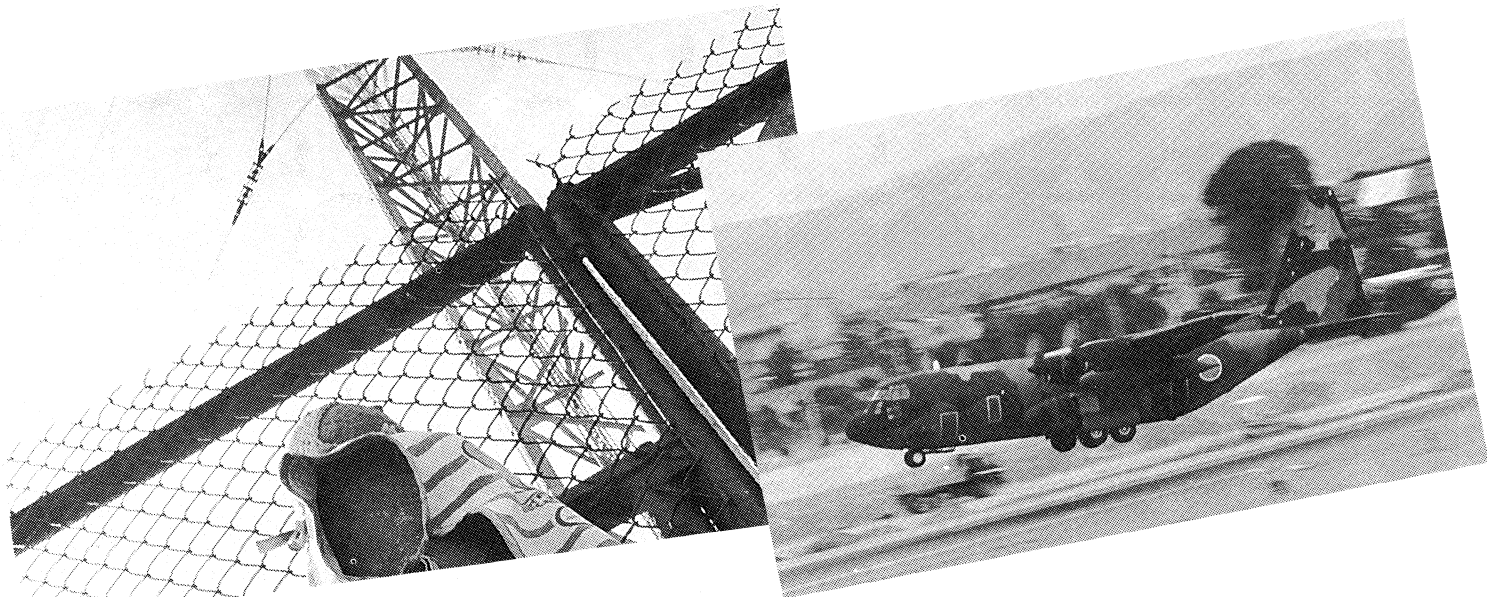
名古屋市中区新栄一丁目22-18

TEL 052-262-1377

発行人 阿部 精 六

第24号 1992年11月20日

なくせ核兵器 やめよ海外派兵



たたかいの方向と展望をしめす

'92日本平和大会 IN あいち

日米軍事同盟打破・基地撤去

11月21日～23日 (国際シンポジウム 11月20・21日)

11.23「依佐美基地包囲」人間の鎖行動

★許せない！違憲・違法の自衛隊カンボジア派兵。派兵後はじめての全国的な大会で、海外派兵策動を打ち破る方向と展望をつくりあげよう

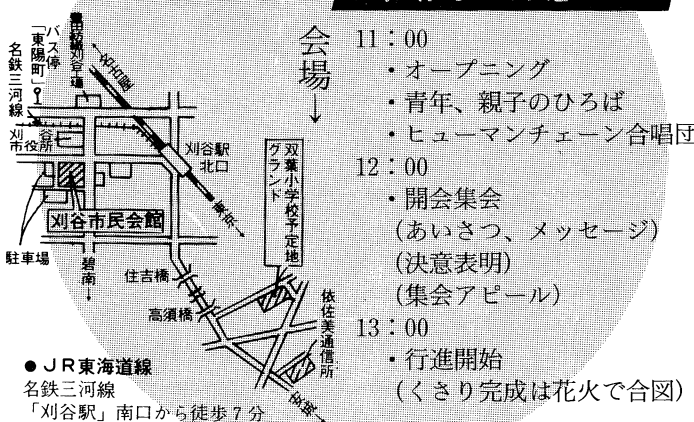
★危険なアメリカの「力の政策」と日米軍事同盟の地球規模への拡大。平和大会の大きな成功で、クリントン米新大統領に、「基地も安保もいらない」日本国民の断固たる意志を示そう

★金権腐敗、暴力団癒着の政治と戦争体制づくりは一体不可分。平和大会と「人間の鎖」の成功で自民党宮沢内閣打倒のたたかいを全国各地の草の根で前進させよう

★平和大会は、激動する情勢と全国の生き生きしたたたかい、今後の展望を知る絶好の機会、平和のために何かやりたいと思っている人を一人でも多く参加してもらおう

★いま求められているアメリカ覇権主義への平和の包囲網。日本平和大会の成功で世界の平和運動を激励し、核兵器廃絶、軍事同盟打破、民族自決権擁護の世論を世界にひろげよう

平和の手と手をつなごう 依佐美基地「人間の鎖」行動



小牧、依佐美の
危険な役割

いっそう明確に

宮沢内閣は、違憲・違法のカンボジア派兵を強行した。彼らは、これを突破口に本格的な海外派兵、米軍がどこで軍事介入を開始しても自衛隊がただちに共同作戦を展開する体制を確立しようとしている。佐世保へ一七〇〇人の隊員と二〇数機のヘリコプターを上陸させる強襲揚陸艦の配備を容認し、日本を出撃拠点とする米海兵隊の攻撃力の大幅強化を許し、小沢調査会がアメリカ中心の多国籍軍への自衛隊の後方支援を正当化する答申を出し、自

衛隊が大型の輸送艦、掃海艇、輸送機を導入しようとしているのはその現れだ。今年の大会は、派兵後に行われる大会として、この間の闘いを総括し、新たな局面で闘いの基本方向と展望を示す重要な意義を持つ

弾道核ミサイルの
七〇％は潜水艦に

「唯一の超大国」をめざすアメリカは、基盤戦力として「唯一の超大国」の覇権を支えるわけにはいかない。また湾岸戦争では先制攻撃にトマホークが使われ

小牧、依佐美がかえりますます 大きな意義もつ愛知大会

愛知県実行委員会 実行委員長 毛受 典英

ている。しかも派兵の拠点とされ、紛争地直結の危険な基地に変貌しようとする小牧基地をかかえる愛知県で行われるのであり、ますます重要な意義を持つものとなっている。県下の経験

た。八四年の「トマホークくる人間の鎖行動」で告発した依佐美基地の危険な役割がますます明らかになった。ドイツをはじめヨーロッパ各国で米軍基地の大幅な

撤去がすすみ、フィリピンからも米軍が撤退したにもかかわらず、在日米軍基地はアメリカの「世界の憲兵」戦略のもとで他に例をみない異常な形で再編強化されている。しかし、「ソ連の脅威」という「口実」を失った基地に対する見方は、保守層を含めて撤去、移転、民間利用など変化し始めている。新たな基地闘争の前進を国内外に認めようと平和大会とともに取り組まれる「なくせ核兵器、やめよ海外派兵、依佐美基地包囲人間の鎖」を成功させよう。



追いつめよう政府・自民党

〈愛知から1,000人超す目標〉

各単産、地域こそって11.29集会へ

十一月二十九日の「軍事費を削って、福祉とくらし、教育を守る国民要求実現大集会」まであと二週間余となりました。

政府・財界が自衛隊の海外派兵を憲法を無視して強行したことに對する、平和を守れの全国のたたかいや佐川急便事件の徹底糾明を求める怒りの声、バブル崩壊を契機とした不況の深刻化のもとで国民本位の不況対策を要求する運動など、全国の職場・地域から様々なとりくみを持ちより、代々木公園にあつまります。

東三河一五〇人の目標を掲げて奮闘しているのをはじめ、新幹線・バスなど全体で一〇〇〇人を超える目標でとりくんでいます。日本のすすむ道を誤らせないためにも、一〇・三〇佐川急便事件・金権腐敗政治打破愛知県民集会や、自治労連がそれぞれ三〇〇人

治体キャラバン、金権腐敗政治の徹底糾明を求める国民署名など、共同のとりくみの全国的な結節点としての一一・二九中央集会を大きく成功させるため、各単産・地域からの参加、とりくみを一回りも二回りも広げることが求められます。

みんなで参加を



看護婦一一〇番に—— 次々、過酷な労働条件の訴え

看護婦の地位の向上と待遇の改善をめざし、「看護婦ふやせ」の運動をすすめてきた医労連は、今秋「看護婦確保法」が成立し、基本方針が厚生省内で審議され、年内にもまとめられる状況のなかで、医療現場のきびしい実態と生の声を聞き、国と自治体に改善をせよと、十一月五日、六日の二日間、県下三カ所で「看護婦一一〇番」を設置しました。

五件の相談があり、全体で六八件（全国で一〇二件）の相談が入りました。相談は、二〇分〜一時間近いものもあり、「時間外労働をやっても金は払って

もらえない」（二〇代看護婦、名古屋市内）、「夜間自宅待機という態勢を取っているが、緊急時に呼びだされても全く保障がない」（三〇代看護婦、東三河）

など過酷な労働条件の改善を訴える声や、退職したけれどパートでも働きたい、せめて人並に休みたい、子どもを看護婦にさせたいなどの声がよせられました。



佐川事件の徹底糾明を

「国民投票」など運動を大きく

とくくみのアピールのため、十月三十日「記者会見」で夜勤実態調査とあわせて発表を。また、看護学校や未組織病院への宣伝行動もおこなわれました。

その結果、「中日」「毎日」など各社の報道とあわせて、テレビ（四局）が当日の取材を。新聞・テレビの報道の効果は大きく、二日間で六三件、翌七日にも

「佐川急便事件の徹底解明、佐川・暴力団につながる政治の掃をめぐす一〇・三〇愛知県民集会」は、緊急の行動提起にもかかわらず一二〇〇人が参加。金権腐敗政治許さんの声を大きく響かせました。

佐川グループ総帥の佐川清元会長は「税金を払うくらいならその分を政治家に使え。なんぼか安く済む」との哲学の持ち主と伝えられています。

佐川の急成長のカゲに政治家の黒い力があつたことは明らかです。また、金丸氏のような政界の実力者でも、職務権限がなければ企業から裏金をもらっても収賄罪には問われないなど金丸問題は、政治資金規制法の「ザル法」ぶりも見せつけました。

金権腐敗に終止符を打つ上で、企業・団体献金を禁止することは大きな意味があります。いま、自治労連や愛高教などを先頭にとりくみがすすめられている「佐川疑惑、企業・団体献金を問う国民投票」など国民世論によびかける運動の構築が急務です。



92秋季年末闘争……自治労連 労働時間短縮・完全週休2日制重点に 全県統一交渉、時間内外集会を配置

なかでも重点課題となっている労働時間短縮・完全週休二日制では、自治省・県地方課の不当な「三無主義」（人を増やすな・予算を増やすな・住民サービスを下げるな）の攻撃を克服して多くの単組で人員増を勝ちとっています。しかし、一方で、国・県の猛烈な勤務時間の「四〇時間を下回らない」との指導・介入によつて、名古屋市以外では時短がすすんでいません。現行の条例でいえば四〇時間を下回る単組を中心に、勤務時間を延長させず、人員増など条件整備を

パート減税をの訴えに次々署名
十一月三日、愛労連・商サ連は共催で「課税限度額引き上げ」の署名行動を上飯田ダイエー前でな行ないました。行動には建設一般、全国一般、運輸一般、生協労連などが

ら十二人が参加。「パート減税を」と訴えるところ、うちパートに行っている」とすぐに署名に協力してもらえ、わずか一時間間に二三四人の署名があつまりました。「これは本当にみんなの願いになっている」と、参加者も元気のてた行動でした。



大企業の横暴リアルに
十月三十一日、大運動実行委員会が大企業シンポを開催、三〇人が参加。トヨタや製薬大企業の儲けの前には労働者や消費者の命さえ軽んじる実態など、リアルに…。

国鉄フェスタに
九千人の参加
「国鉄フェスタinあいち」が十月十八日、白川公園で開かれ九千人が参加。「鉄道の安全は職場に

国民大運動が
自治体キャラバン
十月二十七〜三十日、国民大運動実行委員会が自治体キャラバン行動を展開。「不況金権・自衛隊海外派兵、学校五日制、課税限度額」などの要求で当局・議会に要請…。

二・ユ・ー・ス・短・信

